

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

## 2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野(1/3)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区(静岡県)	4.5	4.9 進捗度 ・防災・減災機能の充実・強化 98% ・地域資源を活用した新しい産業の創出・集積 122% ・新しいライフスタイルの実現の場の創出 120% ・暮らしを支える基盤の整備 117%	4.5 規制の特例等 ・6次産業化の推進に関する優遇措置の適用要件の緩和 等 財政支援等 ・新東名新富士IC周辺物流拠点創出事業 ・総合特区支援利子補給金 等 地域独自の取組 ・緊急地震・津波対策交付金(財政支援) ・新規産業立地事業費助成(財政支援) 等	4.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本特区における防災・減災に関する取り組みである防潮堤整備や避難場所づくりも進行していることがうかがえた。</li> <li>・物流については、コロナ下で顕在化したサプライチェーンに係る課題について、地域産業の振興と併せた形で取り組んでほしい。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響をプラス面マイナス面の両方から丁寧に考察し、目標達成に向けた取り組みの再考を行っている点が高く評価できる。</li> <li>・気候変動による激甚災害のリスクが年々高まっており、防災・減災機能の充実・強化の重要性が増している。関連項目でのさらなる進捗を期待したい。</li> <li>・産業創出やライフスタイル創出分野で兆しのみられるポスト／ウィズコロナを見据えた新たな工夫について、今後も検討いただきたい。</li> <li>・既存住民や既存産業の巻き込み、空き家・遊休地活用に関する取り組みに充実がみられる点が評価できる。</li> <li>・本件は、長期的な対応が迫られる事業であるが、県全体の体制によって全般的に十分な対応がなされている。</li> </ul>